

令和元年度(2019年度)指標に対する実績評価

指標の目標年度 2020年度

評価期間 2018年度～2020年度

1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標 (4項目)

No.	目標指標	参考値		目標値	R1年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績				
1-1	所蔵資料点数	474,702点	476,371点	490,000点	481,717点	98.31%	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	司書資格を有する職員で構成する図書選定委員会を毎週開催し、市民からのリクエストも含めた図書購入について検討、良質な図書の収集に努めている。中央図書館の所蔵スペースでは、これ以上所蔵資料点数を増やすことが困難であるため、4交流センターへの配置変えを含めて資料の充実を図りたい。						
1-2	個人貸出冊点数(視聴覚資料含む)	1,302,032点	1,404,376点	1,450,000点	1,428,568点	98.52%	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	貸出点数は、人口増、開館時間延長及び地域交流センターへの取寄せサービス拡充のため伸びている。読書推進及び情報発信に努め、サービスの維持向上を図りたい。						
1-3	視聴覚資料貸出点数	69,311点	72,522点	85,000点	69,993点	82.34%	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	視聴覚資料の貸出は、インターネット等の普及のため減少傾向である。1点当たりの購入金額が高価になることから、利用状況等を踏まえながら資料の厳選に努め、資料の充実と有効活用を図りたい。						
1-4	市民一人当たりの貸出点(冊)数	5.6点	6.0点	6.0点	5.9点	98.33%	中央図書館と4図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
評価	しばらく人口の増加は続く見込みであるため、サービスステーションや所蔵資料を維持向上し、今後も利用増に努めたい。						

2 市全体へのサービスに関する指標 (10項目)

No.	目標指標	参考値		目標値	R1年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績				
2-1	新規登録者数	5,939人	6,624人	6,500人	5,750人	88.46%	転入者や図書館未利用者等に対するピーアールに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	新一年生に対して学校を通じて図書館利用カードを発行するなどして登録者数の増を図ったが、目標には至らなかった。図書館利用についての情報発信を積極的に行い、登録者並びに図書館利用者の増を図りたい。						
2-2	図書館利用カード利用者数	30,579人	31,600人	33,500人	30,821人	92.00%	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	利用しやすい図書館運営に努め、また図書館利用につなげるイベント等を実施し、多くの市民の図書館活用の促進を図っていききたい。						
2-3	来館者数	514,588人	571,642人	580,000人	559,798人	96.52%	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	土・日曜日も午後7時までの開館延長は定着したが、目標を達成することができなかった。イベントの開催や貸出利用者の増により、来館者増を図りたい。						
2-4	年間開館日数	280日	290日	293日	289日	98.63%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
評価	祝日の特別開館等により開館日数の増を図ったが、目標の達成までは至らなかった。館内整理日や祝日開館の振替休館の見直し等により、日数増を図りたい。						
2-5	年間開館時間	2,446時間	2,731時間	2,760時間	2,415時間	87.49%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
評価	開館時間延長を行ったが、開館日が目標値に達しなかったこともあり、開館時間も目標を達成できなかった。開館日数を増やすことで目標達成を図りたい。						

No.	目標指標	参考値		目標値	R1年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績				
2-6	返却窓口への返却冊数	111,526冊	130,644冊	130,000冊	137,388冊	105.68%	ブックポスト等を設置することで利用者の利便性の向上に努め、市民の利用の促進を目指す。
評価	TX沿線の人口増のためか、谷田部交流センター図書室及びつくば市役所コミュニティ棟ブックポストの利用が増加し、目標を達成することができた。今後も利用の増加が見込まれるため、サービスステーションの位置や配送頻度について検討を続けたい。						
2-7	予約件数	106,252件	125,589件	120,000件	131,781件	109.82%	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の利用の促進を目指す。
評価	平成30年度から4交流センターでの配架本の受取予約を開始したため、件数が増加した。今後も市民サービスの維持向上を図りたい。						
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数(簡易検索の検案件数)	369,210件	362,418件	390,000件	363,192件	93.13%	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
評価	OPACのトップページで検索をした件数であり、詳細検索等は含まない。予約件数は増加しているが、検索数は増加しなかった。読書推進活動から本への興味を増し、件数増につなげたい。						
2-9	図書館情報紙の発行回数	4回	4回	6回	5回	83.33%	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
評価	図書館情報誌「ヨモッカ」及び「こどもヨモッカ」を年2回ずつ発行したほか、1月から所蔵資料の紹介紙「とよかんの本」を作成した。令和2年度は複数回発行し、目標達成を図りたい。						
2-10	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	84回	89回	100回	71回	71.00%	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
評価	コロナ感染拡大防止のため3月のおはなし会を中止としたため、回数が減った。コロナ対策をふまえた上で、イベントの運営について検討していきたい。						

3 高齢者、障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標（5項目）

No.	目標指標	参考値		目標値	R1年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績				
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,478冊	2,582冊	2,700冊	2,680冊	99.26%	大活字本の計画的な蔵書に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
評価	計画的に購入を行って所蔵数を増やしているが、目標値には至らなかった。読書バリアフリー法が制定され、また高齢者も増えているため、今後も計画的な蔵書構築に努めたい。						
3-2	大活字本の貸出冊数	1,874冊	2,369冊	2,300冊	2,773冊	120.57%	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やビジュアルに努め、高齢の方や障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
評価	大活字本の周知が進んだためか、目標を達成することができた。蔵書の質を高め、貸出冊数の増加を図りたい。						
3-3	外国語資料の所蔵点数	10,213冊	10,543冊	11,000冊	10,829冊	98.45%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	予算配分があるため、増加はしたが目標には達しなかった。外国人居住者数は今後も増加見込みであるため、引き続き外国語資料の購入予算増や、積極的な寄贈の受入れにより、所蔵点数を増やしていきたい。						
3-4	外国語資料の貸出冊数	7,190冊	10,466冊	8,500冊	10,895冊	128.18%	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実を努め、外国語資料の貸出増を図り、図書サービスの充実を目指す。
評価	外国語資料展示のイベントを行ったところ、一般図書も児童図書も絵本も平均的に貸出冊数が増加した。今後も外国語資料を紹介するイベントを続け、維持向上を図りたい。						

No.	目標指標	参考値		目標値	R1年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績				
3-5	点字資料の所蔵点数	214点	224点	230点	228点	99.13%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
評価	点訳ボランティアによる点字資料の作成が行われているが、目標には至らなかった。点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに計画的に点字資料を購入することで、サービスの充実を図りたい。						

4 地域支援サービスに関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値		目標値	R1年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績				
4-1	自動車図書館利用人数	11,016人	13,279人	14,000人	12,033人	85.95%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
評価	2台の自動車図書館で47か所のステーションを2週間に一度の割合で巡回しており、つくば市役所ステーションに土曜日も運行を行うこととしたが、目標には達しなかった。市民の生活圏が広域なつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、ステーションの見直しや情報発信で更なる拡充を図りたい。						
4-2	自動車図書館貸出冊数	44,860冊	50,226冊	55,000冊	46,887冊	85.25%	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	自動車図書館の利用者を増やすと共に、利用者層を反映させた図書の購入、積載図書の選書を行うなど資料の充実を図り、自動車図書館での貸出増加を図りたい。						
4-3	相互貸借貸出冊数	1,339冊	1,198冊	1,500冊	1,460冊	97.33%	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実を目指す。
評価	相互貸借の貸出冊数は減少傾向であったが、急増した。目標には達していないが、希望の資料にアクセスできるよう制度周知を図ると共に、潜在的ニーズも掘り起こせるよう情報提供をしていきたい。						

5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値		目標値	R1年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績				
5-1	レファレンス受付件数	1,630件	1,808件	1,800件	1,608件	89.33%	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
評価	調べ物の需要は減っていないはずだが、目標には達せず、サービスの周知を図りたい。研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図り、図書館サービスの充実に努めたい。						
5-2	ボランティア登録者数	132人	142人	160人	159人	99.38%	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供を図る。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
評価	平日活動のグループが多いため、就業している方はなかなか参加できず、登録できない状態である。新たなボランティア活動を依頼、活動日の見直しを図りたい。						
5-3	ボランティア活動者数	1,447人	1,544人	2,200人	1,533人	69.68%	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
評価	ボランティア活動日が月1日、週1日など固定されていることが多く、活動したくてもできない状態である。土曜日日曜日を含め、柔軟に活動できるような体制作りを行いたい。						

6 学校図書館等支援に関する指標（6項目）

No.	目標指標	参考値		目標値	R1年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績				
6-1	団体貸出利用回数	120回	201回	150回	248回	165.33%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
評価	子育て世代の人口増で読書推進団体が活性化しているためか、目標を達成することができた。団体貸出の周知と共に、団体貸出が利用しやすいよう環境を整えたい。						

No.	目標指標	参考値		目標値	R1年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績				
6-2	団体貸出図書冊数	9,704冊	12,392冊	15,000冊	10,601冊	70.67%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
評価	団体貸出の利用回数は目標を達成したが、貸出冊数は目標に達さなかった。魅力ある図書を揃えると共に、選書、貸出、返却のしやすい環境作りを進めたい。						
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	6回	11回	10回	6回	60.00%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
評価	市内の小学校、義務教育学校、特別支援学校等の受入学校数。随時受入は行っているが、申込みが少なかったこともあり、目標達成には至らなかった。希望があった場合には、スケジュール調整を行い、積極的に受入をすることで読書推進を図りたい。						
6-4	職場体験学習受入人数	30人	23人	40人	25人	62.50%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
評価	中学2年生(義務教育学校8年生)を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。図書館の利用者数が多くなる夏休み期間に受入れることが多く、人員配置が課題である。						
6-5	ジュニア図書館員受入人数	87人	51人	75人	47人	62.67%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
評価	5年生、6年生を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。図書館開館時間延長により、人員配置の関係から開催回数を減らしたため、達成することができなかった。						
6-6	学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数	89人	86人	170人	180人	105.88%	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
評価	年度初めに実施される司書教諭・司書教諭補助員等の全体研修会の参加人数。研修を実施している教育指導課及び各学校と連携して、司書教諭・司書教諭補助員のスキルの向上を支援し、児童・生徒の読書推進を図りたい。						

7 市民満足度に関する指標（1項目）

No.	目標指標	参考値		目標値	R1年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績				
7-1	利用満足度調査の満足度	83%	79%	80%以上	84%	105.00%	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
評価	年度末の3月に図書館内で利用者に対して実施した満足度調査の結果。「満足」と「やや満足」と回答した方の合計割合は目標を達成することができた。人口増に対する施設の限界を感じるが、改善できることを見つけ、向上に努めたい。						